

学校教育

教育関係に及ぼすエネルギー高騰と物価の上昇について

Q 次の3点について伺う。
1 エネルギー高騰が

続いた場合の予算の確保について
2 物価上昇による学校給食の運営について
3 高校生の交通費補助に関して、どの程度の負担増を見込んでいるか

1 点目について、

A 児童・生徒が厳しい寒さの中で震えながら勉強することは、学習意欲に多大な影響を与えるとともに、風邪を引くなど体調を崩すことも懸念されるので、学習に支障がないように燃料費の確保など、配慮をしていきたい。

2 点目について、まず、お弁当給食は、家庭科の学習の一環として、児童生徒が自分で献立を考えたり、また、「おにぎり」の結び方などを家族に教えてもらいながら作ってくる日などを設定すると伺っている。

次に、給食費であるが、小学校は、給食費の現状維

持が困難な状況となつてい
るが、本年度は値上げを行
わない、また、中学校は、
社会情勢等を踏まえて設定
しており、来年度も据え置
く考えであると校長会から
報告を受けている。



給食を調理している様子(湯本小学校)

3 点目について、現在、

高等学校等の通学費補助は、
保護者負担が1万円を超え
る額に対して補助するもの
であり、運賃の引き上げが
された場合、補助金もその
分の増額をするものである。

健康福祉

箱根町の防疫対策について

Q 新型インフルエンザの発生に関して、住民等に対してどの

ように周知を図り、防疫体制を確立していくかを伺う。

A

現段階での町の対策としては、平成15年5月に施行をした箱根町感染症対策本部設置要領に基づき、対策本部を設置するとともに、連絡調整会議を招集し、全庁をあげてそれぞれの分担業務にあたることとなっている。

また、今回、国が示したガイドラインに沿った市町村の役割として、1点目は、新型インフルエンザ感染で生活に支障をきたす可能性が高い同居高齢者や障がい者のある家庭等の把握を行い、発生時の予防・医療提供、生活支援等の対策をする。2点目は、情報の収集・提供体制を整備し、住民に対して正確かつ適切な情報を具体的な内容で効果的に提供する。また、観光地の特殊性から観光客対策や観

光施設、宿泊施設等の企業への周知等についても、関係機関等と対策を協議していきたい。3点目は、相談窓口を設置し、住民の不安を解消するものである。

現段階では、国内外において新型インフルエンザは発生していないが、いつ発生してもおかしくない状況であり、新型インフルエンザに関する知識など、また、一般防疫対策にもなるが、「うがい」「手洗いの励行」や人ごみに出る際のマスクの着用など、普段からできる予防対策の習慣化を広報等で周知していきたい。

また、町としても情報提供・知識の普及等について、研修会も開催したいと考えている。



健康福祉

子育てしやすい町づくりについて

Q 次の5点について伺う。
1 妊産婦検診の公費

負担の状況と保健師等の相談体制について
2 ブックスタート事業の状況、小学校入学時からの導入について
3 小児医療費助成制度の拡大について
4 特別保育(一時保育、休日保育)の実態とこれからの町の考えについて
5 子育て勤労者支援住宅の状況と将来に向けての政策について

1 点目について、

まず、妊産婦検診の公費負担は、今年度2回を5回に拡大した。また、保健師の相談体制については、子育て支援班の保健師が随時対応している。

2 点目について、まず、事業の状況は、さくら館で実施している4か月健診時に絵本を配付している。また、小学校入学時からの導入は、ブックスタート事業の目的や発達段階から考え、

今のところ考えていない。3 点目について、現在の財政状況では、事業の拡大は厳しく、今年度は見送らざるを得ない状況であるが、来年度以降も町の財政状況及び他の事業との優先度を考慮し、できれば小学校卒業まで助成をしていきたい。4 点目について、まず、一時保育は、宮城野保育園と仙石原保育園で行っており、休日保育は、仙石原保育園で日曜日と祝日に行っている。また、これらの事業は、利用者が少ないが、今後も続けていきたい。5 点目について、子育て勤労者支援住宅は、現在、湯本に6戸、宮城野に5戸あり、入居状況は9月1日現在、全室入居している。

また、将来に向けての政策であるが、利用率も高いことから、今後も適切な管理を行い、子育てをしている世帯のニーズを勘案し、当町にあった子育て勤労者支援住宅にしていきたい。